

令和5年度 第26回「宮保地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年11月30日（木） 19：30～20：30

場 所：宮保公民館

参加団体等：町内会長会、地区振興会、スポーツ協会、老友会、壮年会、防犯協会、交通安全協会、民生・児童委員、宮保地区社会福祉協議会、宮保コミュニティ組織設立準備会、宮保地区子ども会指導者連絡協議会、公民館長、町会連合会理事 など

発言【1】

- (1) 白山市立高速鉄道ビジターセンターは、市政報告での説明以外でインパクトのある、人を集められる計画があるかどうか聞きたい。閑散となるような施設にだけはならないようにお願いしたい。
- (2) コミュニティ組織が令和6年の4月から本格的にスタートするが、50万円の交付金の使い道について制限があるように感じている。もう少し緩和することはできないか。

【市】

- (1) 白山市立高速鉄道ビジターセンター（愛称「トレインパーク白山」）は、1階の「新幹線 学びと体感エリア」には北陸新幹線の本物の運転台で行うシュミレーターがあり、運転士気分を体感できます。3階の「こども あそびエリア」には、こどもが楽しめる大型遊具が設置されていて、滑り台やボルダリングでも遊べるスペースになっています。4階は白山総合車両所とつながる連絡橋を設置し、新幹線の整備風景を見学できます。5階屋上展望デッキでは、疾走する北陸新幹線を眺めることができる魅力にあふれる施設となっています。IRの企画きっぷ発行や加賀笠間駅とのアクセスにも気を配り、来館者の利便性向上も図っていきます。

また、施設の管理経験が豊富で、イベント開催の実績も十分な業者に施設の管理運営を行ってもらうことになっており、地元の方も含めて、たくさんの方で賑わうことを期待しています。

- (2) 各地域コミュニティ組織の共通テーマを防災とし、更なる事業の展開は地区の実情や住民のニーズに応じて取り組んでいただきたいと思います。

また、令和6年度からの（仮称）白山市地域コミュニティ推進交付金については、10月に開催した説明会で頂戴したご意見をもとに精査しており、令和6年1月13日の説明会で改めて説明させていただきました。

発言【2】

- (1) 野球場が10月から供用開始となった。市政報告の説明のなかで防災の拠点となる説明を受けたが、来年以降のこれからの利用、活用の見込みはどのような予定か。
- (2) 野球場の西側を走る主要地方道25号線の4車線化工事が松本交差点から小川交差点まで順調に進められており、完成も近いと思われる。今後、これらの諸条件を活用した中で近隣の開発をしてもらいたい。

【市】

- (1) 白山市立野球場「あさがおスタジアム」は、10月から11月までの1ヶ月で1850人ほど利用しています。10月、11月の土・日・祝日はすべて埋まっており、少年野球や硬式の少年野球のリトルシニアが使用しています。防災拠点としては1月14日から16日まで能登半島地震の被災者の方への救援物資の受付を行いました。広い駐車場があるので、消防団の訓練でも使用できると考えています。配備されている資機材も多くあり、操作訓練の場としても使えます。令和6年度以降はいくつかの大会を予定しています。
- (2) 防災の物資が県外から運ばれてくる時や、工業団地から出荷する際も、道路が大切なので、その道路の整備を進めております。工業団地の拡張については、本市の優位性を発揮できる箇所が最適と考えており、今後の経済情勢、企業の設備投資意欲などを注視しながら、市全体の中での検討を進めていきたいと考えています。次期市街化編入の時期や工業団地の事業化の有無とも未定ですが、工業用地の拡張余地があること的前提や、候補地における地元の合意形成状況等を踏まえ、今後、工業用地の適地選定を進めてまいります。

発言【3】

- (1) 人口維持のための施策に関連する農村集落のまちづくりについて、平成23年に条例が制定され、令和5年7月に市とJA松任が協定を結んだ。そのことによって状況が以前より良くなったのか聞きたい。例えば宮保町が正式に企画書を作成し認定されても、集落の周囲に上下水道が全く通ってないと工事費の負担額も高くなる。それでは、まちづくりをしても意味が無いと感じたため、少し緩和できないか。
- (2) 宮保町は昔から100件ほどの町だが、件数が多いと「まちづくり開発制度」の対象にならないとも聞いた事がある。

【市】

- (1) 市街化調整区域における「まちづくり開発制度」は、集落の活力維持の範囲内で、なおかつ、既存公共施設の能力の範囲内で開発を認めていく制度です。
- (2) 「まちづくり開発制度」の計画戸数は、集落の活力維持の範囲内（ピーク人口に戻す、もしくは現在人口が2割増程度）でお願いしています。

発言【4】

- (1) 西松任駅には、駅利用者のための無料駐車場や、有料駐車場、また駐輪場も完備されるのでしょうか。無料駐車場があったら利用者も増えると思う。
- (2) 西松任駅に桜の木を植えるということだが、宮保地区からは壁ばかり見える。もう少し宮保寄りに桜を植えてもらえると在来線からも見え、市立高速鉄道ビジターセンターに行くまでの名所になると思う。
- (3) 加賀笠間駅で、西を行き来できる自由通路の計画があると聞いているが、どのような予定なのか聞きたい。

【市】

- (1) 西松任駅では、約200台の駐輪場と35台駐車できるパーク・アンド・ライド駐車場（無料駐車場）を設置したほか、近隣の商業施設を利用した有料駐車場10台も準備しています。
- (2) 西松任駅から松任駅方面に向かい線路沿いの公園に植樹を行います。公園利用者及びI R利用者に桜を楽しんでいただけたらと思います。
- (3) 今年度は基本設計に着手しており、今後予定される実施設計や工事については、スケジュールを含めI Rいしかわ鉄道と協議していきたいと考えています。

発言【5】

ジオパークは、これからさらに市民への認知、市外の方への発信、また4年に一度再認定が必要と聞いているが、今後ジオパークをどのように進めていくのか。

【市】

市民の方にジオパークを理解してもらわなければいけないと思っています。市民の方に対しては各種講座やジオツアーを開催し、白山市全域をエリアとする白山手取川ユネスコ世界ジオパークの魅力を引き続きお伝えしていきたいと思いません。

また、各小中学校では、地域の魅力や成り立ちを研究する「白山ジオ学習」に取り組んでいますが、新年度は新たに中学生以上を対象に、主体的に学びを進め

られるよう「ジオ・クラブ」を開講します。

そして、市外の方へはホームページや SNS 配信などデジタルツールをはじめとする様々な媒体を活用しながら、より効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えています。

発言【6】

来年度から「公民館」が「地域コミュニティセンター」に名称変更となるが、少子高齢化が進む中、これまでの「夏祭り」やその他地域活動を継続していくことや、新たに防災に対する地区住民の意識を高めていくことが大事と考えている。市長から「コミュニティセンター化」で望むことはあるか。

【市】

近年は災害の激甚化、頻発化が見られ、市ではそのための防災倉庫や防災協定の整備を進めてきました。地域コミュニティでは、防災組織、防災の対応を地域の皆さんで進めてもらいたいと思います。合わせて生涯学習や社会福祉などの様々な取り組みもあります。地区の実情に合わせて取り組んでもらえたらと思います。

コミュニティセンター化することで地域のコミュニティ組織が完成し、地域の皆さんには強い絆を作っていただきたいと思います。

令和5年12月に「白山市地域コミュニティに関する条例」を制定しました。条例の趣旨は、市民が自らの意思で協働のまちづくりに参画し、地域コミュニティにおける多様な課題に主体的に取り組むことができる環境を構築するため、基本理念を定めるとともに、地域コミュニティ組織並びに白山市立コミュニティセンターの設置及び管理に関して必要な事項を定めました。

発言【7】

軽体育館の屋根については、平成23年度に一度改修されているが、現在屋根が傷んでおり、この6月には雨漏りがあり応急処置をしてもらった。今後も点検を続けながら、将来的に改修をお願いしたい。

【市】

屋根の状態等、今後も確認していき、雨漏りがあれば早急に修繕していきます。他の施設の改修状況等も踏まえて今後進めていきます。